

第44回 静岡県小学生バレーボール選抜優勝大会

競技委員長：鈴木 健二

競技上の確認

1. 競技規則について

- (1) 平成29年度日本バレーボール協会6人制競技規則(小学生特別ルール)により行う。
- (2) トーナメント形式による3セットマッチで行い、東海大会出場決定戦を行う。

2. 試合球について

- (1) (財)日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号カラーボール「ミカサボール(MVA500) / モルテンボール(V4M5000-L)」を、本部より各コートへ配布する。
- (2) **男子は、モルテン・女子は、ミカサを使用する。**

3. チームの構成について

- (1) チームは監督、コーチ、マネージャー各1名、選手12名以内とする。
- (2) 選手の背番号及びベンチスタッフの変更がある場合、所定の用紙にて代表者会議開始前までに競技委員長まで申し出ること。※ベンチスタッフの変更はOK、追加はNG。
- (3) 監督・コーチ・マネージャーは規定の証を左胸部につけ、この内1名以上は(財)日本バレーボール協会・日本小学生バレーボール連盟の主催する全国小学生バレーボール指導者研修会の受講証明書を所持しているか、または日本体育協会認定の指導員、上級指導員、コーチ、上級コーチのいずれかの資格を有し、その証明書を試合中胸に下げていなければならない。
- (4) 選手は統一されたユニホーム(ジャージ・パンツおよびソックス)を着用すること。ユニホーム(ジャージ及びパンツ)からアンダーウェアが出るものは禁止とする。
- (5) ベンチスタッフは統一された服装(上着は襟付きで同じデザイン・同じ色、スラックスは長ズボンで同じ色)でベンチ入りすること。服装が違う人はベンチに入れないのでチーム責任において必ず統一を図ること。尚、統一された服装の上に防寒着の着用を許可するが、着用は試合開始挨拶後とし、規定の証を防寒着に着け変えること。(防寒着は揃ってなくても可)

4. 試合進行について

- (1) 開会式及び閉会式の時は統一した服装であればユニホームでなくても構わない。
- (2) 試合順はプログラムに掲載の通りとし、追い込み方式にて進行する。
- (3) 全チーム、開会式が終了し、準備が整うまでの間、ボールを使わないコート練習を許可する。準備が完了し、第1試合プロトコール開始時刻までの間、ボールを使用したコート練習を許可する。
- (4) 第1試合プロトコール開始時刻は放送にて指示し、1試合目開始の吹笛は全コート合わせる。
- (5) 第2試合以降の試合間は、通常時15分・連続試合の場合は20分とする。(いずれもプロトコール含む)
- (6) 試合進行を円滑に行うため、試合終了後は速やかにコートを空けること。
- (7) 点示及びラインジャッジを行うとき、防寒着の着用を許可する。但し、きちんとした身なりで行うこと。
- (8) 試合の進行上、プログラムとコート及び試合順を変更して行う場合もあるので注意すること。
- (9) 試合が終了し、担当審判の責を果たしたチームは随時退館を許可する。その際、総務委員長もしくは競技委員長に報告すること。

5. その他

- (1) 監督、コーチ等が、試合中のみならず体育館内外において、選手に体罰や罵声等の行為を確認した場合は退場とする。指導資格を取り消される場合もある。
- (2) 競技中に生じた事故・傷害については、応急処置は主催者側で行うが、それ以降の責任は負わない。
- (3) 競技者は、怪我の原因と成り得るヘアピン・ネックレス等を身につけてプレーすることを禁止する。
- (4) 応援幕等を掲げる場合は、自チームの試合のみとする。この時、紐で縛るだけでテープ類は使用しないこと。
- (5) 応援席からは過剰な応援は慎み、節度ある応援に心掛ける。
- (6) 応援時にはメガホン等の使用は許可するが、体育館の手摺等を叩くことは禁止する。(楽器の使用は禁止)
- (7) 空きコートの練習はボールを使用しないこと。また体育館の使用規定を厳守すること。
- (8) 地震等非常時に備え、各人非常口等避難経路の確認をしておいてください。また、不審者等見かけたら本部までお知らせください。